※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1008 |
|---|---|

# 令和５年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | 深学英語Ａα | 1 | 第２学年 | Mileage Reader ② |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・深学Ａαは「英文を早く読み、内容もきちんと把握する」力をつける授業です。
・幅広いジャンルの読みやすい英文が用意されています。英語の語順に慣れ、英語を英語のまま理解できるようになっています。徐々に早く読む習慣をつけていきます。
・テキスト各ページの下部に「マイレージ表示」があり、これまでに読んだ総語数を一目で確認することができます。
・Point で解説を読み、英文をスムーズに理解しやすくなり、練習問題を解答します。
・Let’s check!　で本文に出てきた語彙や表現を復習します。

## ２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと（やり取り） | 話すこと（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | ・自然なスピードで話される短い身の回りのことや身近なトピックについての英文を数回聞けば、その使用状況や概要を概ね理解できる。<br>・５文程度の短い話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 | ・まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を大まかに理解することができる。<br>・様々な種類の英文を、その意図を理解し、読む速度を変えながら、必要な情報を大まかに読み取ることができる。 | ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて、情報を交換することができる。<br>・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。 | ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。<br>・簡単な語や表現を使って、自分の意見（賛成か反対か、どう思っているかなど）を述べることができる。 | ・複数の段落で、序論・本論・結論を意識して、時間をかけた修正を経て、自分の意見をわかりやすく書くことができる。<br>・自分のよく知っているトピックに関し、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。 |

## ３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | Lesson<br>1,2,3,4,5 | 読むこと | a:主語と動詞を意識して、文頭から理解することができる。<br>b: want to~と would like to~/ forget to~と forget ~ing　などの違いを理解できる。<br>c:本文の背景にある文化について考察することができる | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a:主語と動詞を意識して、要約を書くことができる。<br>b: want to~と would like to~を使って英作文ができる。<br>c:文化的背景を調べ、英文にすることができる。 | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | 中間考査 | | | |
| | Lesson<br>6,7,8,9,10 | 読むこと | a:主語と動詞を意識して、文頭から理解することができる。<br>b: in や among/between など前置詞の働きを理解できる。<br>c:本文の文化の違いについて意見交換を行うことができる | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a:主語と動詞を意識して、要約を書くことができる。<br>b:in や among/between など前置詞を使って英文を作ることができる。<br>c:文化的背景を調べ、英文にすることができる。 | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | 期末考査 | | | |
| 2 | Lesson<br>11,12,13,14,15 | 読むこと | a:主語と動詞を意識して、文頭から理解することができる。<br>b:可算名詞、不可算名詞について理解することができる。<br>c:本文の背景にある文化について考察することができる | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a:主語と動詞を意識して、要約を書くことができる。<br>b:Something is wrong with it.の with を使って英文を作ることができる。<br>c:文化的背景を調べ、英文にすることができる。 | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | 中間考査 | | | |
| | Lesson<br>16,17,18,19,20 | 読むこと | a:主語と動詞を意識して、文頭から理解することができる。<br>b:should や if~（～かどうか）の使い方について理解する<br>c:本文の背景にある文化について考察することができる | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a:主語と動詞を意識して、要約を書くことができる。<br>b: should や if~（～かどうか）を使って英文を作ることができる。<br>c:会話文を読んでその後の展開について英文にすることができる。 | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | 期末考査 | | | |
| 3 | Lesson<br>21,22,23 | 読むこと | a:主語と動詞を意識して、文頭から理解することができる。<br>b: Some~, others…の表現を理解する<br>c:物語の展開と結末を考察できる。 | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a:主語と動詞を意識して、要約を書くことができる。<br>b: Some~, others…の表現を使って英文を作ることができる。<br>c:文化的背景を調べ、英文にすることができる。 | 定期考査<br>小テスト<br>提出物 |
| | 学年末考査 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度